

県内大学等と知事との意見交換会 議事録

日時：令和6年7月16日（火）午後3時から
場所：ホテルポートプラザちば 2階 ルビー

1 開会

2 千葉県知事あいさつ

皆さんこんにちは。今日は大変お忙しい中、理事長、また学長、また大学の幹部の皆様方にこうしてご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

こうした形で、千葉県と高等教育機関の皆様方が一堂に会する場というのは、初めて今回開催をさせていただきました。改めて、これまで多くの有為な人材を千葉県やまた日本に供給していただいていること、そしてそれぞれの地域における地域活性化にご尽力していただいていること、また文化芸術や様々な分野においてご貢献いただいていることに、県を代表して心から感謝を申し上げたいと思っております。

人口減少社会の中で、より私たちは高等教育機関の皆様方と行政の連携を密にして、求められる人材をいかに社会に供給をしていくのか。また、私たち千葉県がより活性化し、文化や芸術を発展させていくためにどのように皆様方のお力をお借りできるのか。また、高等教育機関の発展のために、我々千葉県から何ができるのか。皆様方と情報共有しながら、意見交換をこれから密にして参りたいという風に考えております。

今日は私どもの取り組みを申し上げた上で、皆様方の取り組みや、また県への要望なども伺いますが、これをスタートとして、是非実務的な分野においても皆様方とより密な関係を築かせていただきたいという風に思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

限られた時間ではありますけれども、有意義な意見交換となるよう我々も精一杯努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

それを申し上げまして、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。ご出席ありがとうございます。

3 出席者紹介

4 知事講演

別添の資料に基づき知事が説明

5 意見交換

(1) 大学等の取組事例等の発表

東京大学、流通経済大学、千葉大学、敬愛大学（発表順）

(2) 質疑応答

○熊谷知事

それでは本日のテーマである多様性の尊重、それから人口減少社会への対応について、4校からご説明いただきましたけれども、それ以外からも、こうした取り組みがある、もしくは行政にこういうものを期待する、等々ございましたらお話をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

はい、それではよろしく願いいたします。

○昭和学院短期大学

多様性が尊重される社会づくりでございますが、県には今、千葉県の総合計画などの計画があります。例えば、食育推進計画だと、5年ごとでもう18年になるので、今は第4次の計画です。数値目標も5年ごとにたてられますけれども、その達成度も重要なので、もしできましたら、我々に参考になるような、多様性が尊重される社会づくりの5か年計画のようなものを作ってください、知事をはじめ、諸先生方が紹介されたような内容を県として整理され、できたら数値目標も示していただければと思います。

それから、県の将来を支える人材の育成でございますけれども、金融教育などを大学や高校で行う中で、人生のライフプランも説明するんですけども、結婚して子供ができると教育費の負担が困難な問題として浮かんでくるようです。知事が先だって、高等学校の無償化を政府に申し入れられており、大変喜ばしく思っております。

国民1人当たりの教育費の財政負担額が先進国の中では低い水準となっていて、東京大学による授業料値上げが検討されている状況で、やっぱり人口減少社会を打開するような、子供を生み育てることができる状況のためには子育て世代の家計の負担の軽減が重要です。

こども家庭庁を国は作りましたけれども、子育て支援のためには、教育負担の軽減をいかにしていくかということが、これからの日本にとって非常に大きいと思います。

○熊谷知事

ありがとうございます。まず多様性の部分において数値目標を含めて、PDCAをどう回していくのかという部分のお話、しっかりと受け止めたいと思っております。

教育費については、東京大学さんも含めて、学費は本来は上げていただいた上で、国・行政がどういう風にそれを補助して教育機会を確保していくのか、これが当たり前のように国民に受け止められる、議論されるようにしなければいけないと思っておりますので、それについてもご指摘いただいたということで、しっかりと活動の中で近づけるように努力をしていきたいという風に思っております。

それ以外にはいかがだったでしょうか。

それでは神田外語大学さん、よろしくお願いいたします。

○神田外語大学

本日の知事のご講演の中で、成田空港の更なる機能強化で、空港内従業者数が現在 4.3 万人ということですが、これを 2030 年に 7 万人にしていくには約 3 万人増やさないといけないんですが、これを県内の若年者を中心とする生産年齢人口では到底カバーできないという状況で、現在成田空港ですと、ネパール人とかベトナム人などの外国人労働者が在留資格を得て働いているというような状況ですが、それでもおそらく各企業は賄いきれない。

これについては、外国人労働者もなかなか安定した雇用の在留資格が得られない人もいますので、ここを千葉県と出入国在留管理庁や成田国際空港株式会社や自治体、大学などで、いわゆるワーキンググループなどを作って、この 3 万人を埋めていくということについて、どのように労働者を増やしていくか、外国人労働者を含めてですね、そういうような仕組み作りというのが必要なと考えておりますので、ご意見をさせていただきました。

さらにもう 1 点申し上げますと、本日千葉大学と敬愛大学から、DXに絡む新しい学部のお話がありましたが、現在千葉県内では、IT産業は大体 1600 社ぐらいの状況となっています。本学で今 2 割の学生がIT産業を選んでいますが、IT産業を進路に選ぶと、結果として千葉に残らず東京に流出するというような形になってしまいます。

県内にも優良なIT企業があるんですが、県としてIT企業を誘致するというのが 1 つなんですけれども、もう 1 つは県内の大学のIT教育というのを県としてもサポートしていただけるとありがたいかなと思います。

IT産業に就職しなくても、ITの基礎知識を持った人材が他の産業に就職して、他の産業でITの知識を生かして千葉県のGDPを上げていくという取り組みが必要かなと思いますので、ちょっとご意見もさせていただきました。以上です。

○熊谷知事

ありがとうございます。成田空港で働く外国人に対する様々な取り組みについて、これは本当に官民挙げてやらなければいけない課題だと思っておりますし、また、ITの部分での大学の教育へのサポートについてどのようなことができるのか、実務的に意見交換させていただければという風に思います。ご意見、しっかり受け止めさせていただきます。ありがとうございます。他にございますでしょうか。

はい、国際医療福祉大学さん。

○国際医療福祉大学

障害者についてなんですけれども、雇用については法定雇用率というものがあるんですが、我々高等教育機関として、学生さんとして障害を持つ方をどういうように援助していくかが非常に大きな課題です。特に 3 障害（身体障害、知的障害又は精神障害）そのものならいいんですが、発達障害は気づかれない、本人も気づいて

いない場合も非常に多いところですね。これを放置しておく、例えば能力がないとか、性格が悪い、協調性がない、というレッテルを貼られてしまう。もし可能であれば、発達障害の学生さんの支援というものを県全体としてやっていただきたいところですよ。

○熊谷知事

ありがとうございます。発達障害の部分については、どのような機会が作れるかが、そういう人たちの能力を生かすかどうかを左右すると思っておりますので、その点しっかりさせていただきたいという風に思っています。

時間を超過しております、可能であれば、あとひとかたと考えておりますが、いかがでしょうか。せっきくの機会でございますので。

よろしゅうございますか。少し時間が限られた中でございましたけれども、各大学の取り組みのご紹介や、ご意見をいただいたことに心から感謝を申し上げます。しっかり受け止めて、反映してまいりたいと思います。本日はご出席いただきありがとうございました。

6 閉会